

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

〈第4弾〉
静岡→
岩手へ

東北の子ども応援わんぱくプロジェクト

後半の
交流が
はじまる

「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」は、静岡・大阪・新潟の各地方連合会にご協力いただき、東北3県(岩手・宮城・福島)の被災した子どもたちが今年7月から8月にかけて、それぞれ静岡・大阪・新潟を訪問し、子どもたちとの交流を通じて、絆を深めました。

さて、秋の行楽シーズンを迎えた10月から11月にかけて、相互交流の復路となる後半のわんぱくプロジェクトを実施します。今度は静岡・大阪・新潟の子どもたちが東北を訪問し、お友だちとの再会を果たすとともに、自然災害への防災の意義を学んでもらうことにしています。

まず、プロジェクト通算第4弾として、10月11日～13日、2泊3日の日程で静岡っ子たちが田老(岩手県宮古市)を訪問し、後半のスタートを切りました。静岡っ子たちを対象に行った防災学習では、田老の町を襲った津波の映像による学習に続いて、実際に大防潮堤に登って地元ガイドの方から説明をいただき、「自然災害の恐ろしさ」や「自分で自分の命を守る意識」、「普段からの災害への備えの大切さ」などを学びました。

交流会には、静岡から小学4年生から6年生の39名が、また岩手からも同じく41名が参加しました。夏休みに一緒に遊んだお友だちと約2ヵ月ぶりの再会を果たし、スポーツ交流(グラウンドゴルフとストラック・アウト)ですぐにうち解け、終始大盛り上がりでした！また、夕食後のフリー交流ではお手製の名刺交換会も行いました。

解散式では、子どもたち一人ひとりから感想を発表してもらい「久しぶりに静岡や岩手のお友だちと会えてとてもうれしかったし、楽しかった。」という声が多く聞かれました。静岡っ子からは、「防災の大切さを学べてよかった」「被災地で見たり聞いたりの体験を静岡に帰ってから伝えたい」との言葉もあり、スタッフ一同感無量でした。

来月には、11月1日～3日に新潟っ子が福島へ、11月22日～24日に大阪っ子が宮城を訪問します。引き続き東北の子どもたちの応援をよろしくお願いします！

主なスケジュール

- 1日目：静岡っ子・三島駅から新幹線で盛岡駅へ、わんこそば体験の昼食、盛岡手作り村見学後、田老の宿(グリーンピア三陸みやこ)へ
- 2日目：仮設住宅(空室)の見学、大防潮堤で防災ガイドの案内による防災学習、浄土ヶ浜観光船乗船、岩手の子どもたちが集合・再会してスポーツゲーム交流、入浴・夕食交流後、岩手っ子と解散式
- 3日目：世界遺産・平泉中尊寺「金色堂」見学、一ノ関駅から新幹線で静岡・三島駅へ

★防災学習

大防潮堤の上でガイドさんの話を聞く静岡っ子たち。

遊んでいる時とは一転、真剣な表情がとても印象的でした。



★朝のラジオ体操



かけ声は岩手の言葉で「いず、ぬー、さん、すうー」

ブルーのビブスは岩手っ子、オレンジは静岡っ子

★全員集合で記念写真



★感動の解散式

最後にみんなで元気よく、「地球組」テーマソングを大合唱しました

「グルグル回るよいっしょに回るよ♪」



以上

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp